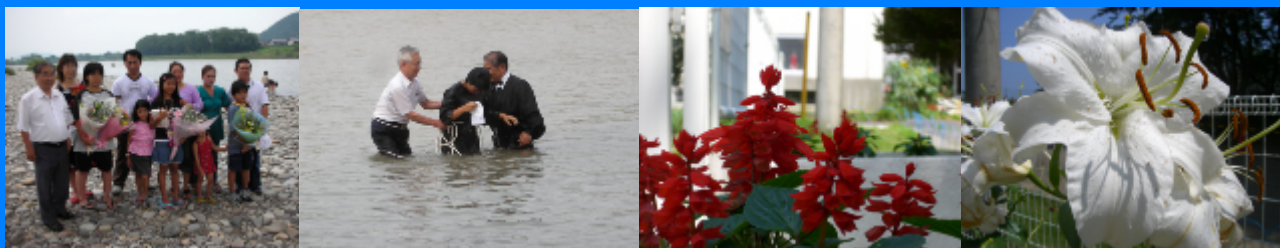


# 北浦三育通信



August 8, 2007 Volume V

## はっきり「ノー」と言うべき

毎年この時期、大変注目している人物の宣言文が公表されます。私は何年も前から必ず新聞やインターネットで毎年確認しているのですが、その人の名前は、秋葉忠利といいます。現在の広島市長をつとめておられる方です。衆議院議員もしておられた数学者で博士号も取得しておられる方です。1999年から広島市長として、また、平和市長世界会議の議長としての役目を果たすなど、活発な平和活動を展開していられますが、注目しているのは8月6日の朝、広島平和記念公園で読み上げられる「平和宣言」の内容です。今年の宣言文の中で「時代に遅れた少数の指導者たちが、未だに力の支配を奉ずる20世紀前半の世界観にしがみつき、地球規模の民主主義を否定するだけでなく、被爆の実相や被爆者のメッセージに背を向けている」という痛烈な批判とともに「21世紀は、市民の力で問題を解決できる時代です。」と語り、「日本国政府は、世界に誇るべき平和憲法をあるがままに遵守し、米国の時代遅れで誤った政策にははっきり、『ノー』と言うべきです。」として、核兵器廃絶を力強く訴えておられました。

何も大げさなことではありません。日常の中で明らかに「ノー」と言うことの方が正しく、皆がそれを望んでいるにもかかわらず、様々な理由で「ノー」とは言えず、それによって関係を一見穏便に保っているというようなことはありませんか。例えば、岡田尊司著「脳内汚染」などでTVやDVDやNETといったもの子どもたちへのただならぬ影響が大きく取り上げられ、ゲーム等は危ないのではないかと思いつつも休み中くらいは大目に見ておくかと「ノー」とは言えない等々。だとすれば、私たちも秋葉市長の指摘の通り間違いなく時代の実相やメッセージに背を向けていることになるのです。

勇気を持って本気で「ノー」というべき時を逃してしまっていないでしょうか。21世紀はそんな本気の発言をする市民の力で問題を解決できる時代となるはずだという指摘は射っています。

『GET READY FOR THE NEXT!』

### キャンパス草刈デーご協力に感謝!



「8月5日キャンパス草刈デーにご協力を」との呼びかけに約30名の保護者、OB、在校生、教職員家族の御協力をいただきました。本当に綺麗になりました。

この時期たくさんのOBの方々が、このキャンパスを訪ねてくださっていますが、

今年はさっぱりとしたキャンパスをご案内できます。感謝です。ご参加くださいました皆様に心よりお礼申し上げます。

夏休み最後の8月26日にも行う予定です。

2007年8月8日

校長 尾上 史郎